**現場の週報から（令和2年10月5日～10月18日）**

**【10月5日～10月11日】**

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・５日に白玉団子作りイベントを行いました。ご本人の皆さんとしっかりと計画を立て進めたことで予定していた時間よりも早く終える事ができゆっくりすることができました。白玉団子を丸めておしるこにしました。彩りには希望のあった栗を付け合わせにしてとっても美味しいおしることなりました。皆さんには「美味しい～」や「最高！！」「またやりましょうね！！」とたくさんのお声を聞くことができとても好評でした。コロナ禍ですが、ご本人の皆さんと考えた今回のイベントは皆さんの表情が物語ったように大成功だったと思います。これからも対話を深め楽しく過ごしていけるように皆で知恵を出し合っていきたいと思います。来週は芋煮イベントを予定しております。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・7日にご利用者の希望により、以前やっていた絵手紙をまたやりたいということで第2回手作業の会を行いました。参加された方は真剣な表情で絵手紙を作成しておりました。周りの方も興味深々で作業を見学していた方、急きょ参加された方と会は盛り上がっており、「あんたも次参加してみなよ」とお互い誘い合い、徐々に繋がりが広がりまた１つのコミュニティが出来たように感じました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・柴田町の商工会より農家の方が作られた花を届けてくださる企画に参加させていただきました。今回は菊の鉢植えをいただきました。どこに飾ろうか入居者さんと相談すると「玄関」とのことで、玄関と玄関ホールにかざり、飾ってある写真とメッセージを添えて商工会にメールを送りました。また、届く予定で皆さん次は何か届くか？楽しみにされています。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・週３回の買い物に、マスクを着用し、混む時間帯を避けて利用者さんも一緒に行くうようになりました。今までは、毎回職員に自分の食べたい物を頼んでいましたが、沢山の品物の中から自分で選んで購入しています。買いたい物がある人の他にも、運動目的で一緒に行っている方、食事量が進まないので、少しでも興味がある物を探してそれを買って提供してみる…等、人それぞれの目的で職員は買い物に出かけています。時にカメラを持参し、買い物の様子を撮影し、それをご家族に送ったりもしています。本日届いたご家族からの書類の中に【いつも楽しそうな写真ありがとうございます。ななみの杜の職員の皆さん、入居者の皆さんと、いつも笑顔で一緒に写っているので、本人も凄く楽しんで生活しているんだと思います。ありがとうございます。】というメモが貼られていました。こういった事は素直に励みになり、とても嬉しく思いました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・11日に「出前イベント」を行っております。事前に参加の有無の際に、食べたいお店を選んでいただいて、またメニューから食べたいものを選んでいただいております。11日は鶴ケ丘のそばつるとくら寿司から選んでいただきました。そばつるはボリュームがかなりあり、食べきれない方が続出しました。くら寿司では、値段に比べ、種類が多かったこと、大好きなまぐろをお腹いっぱい食べた方などおられ、皆さん大満足で過ごして頂きました。午後からはカラオケかおやつ作りを選んでいただき、老健側と分かれておこなっています。写真は11日に行った出前イベントの写真になります。皆さん満足したイベントとなりました。やはり「食」の大事さに気づかされました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・柴田町観光物産協会から「しばたの花お届け事業」より町内で栽培しているポットマム(菊の花）3鉢が届きました。施設の中に鉢花を設置した写真を協会にメールでご報告するために、ご利用者と職員で「どこに置いたら映える」と試行錯誤。無難に玄関で落ち着きました。花があるとご利用者の心も表情も穏やかになります。芋の絵を皆さんに塗っていただき、完成した個性豊かな芋の絵に一言書いていただきました。その一言とは・・・「うなぎ食べたい」　食欲の秋を皆さんで感じました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・なつめユニット。７日、天候もよかったことから昼食はベランダデッキで食べました。「いい気持ちだね！」「風が気持ちいい」と話に花が咲いていました。今後も続けていきたいと思います。

・あやめユニット。おやつの時間にミニおはぎを作って皆さんと一緒に食べました。いつも小食の方も進みよく皆さん大満足でした。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・紅葉フォトコンなどの募集があり、ご利用者へドライブの相談をした所、様々な場所が出てきました。「小原温泉の所が昔よく行っていた」「角田もきれいだよね」と。今から紅葉のドライブの相談を始めています。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・芋煮会を開催しております。「もう芋煮の季節だろ？やるべー」と声が上がり、今週は「山形風芋煮」を皆さんでつくられておりました。山形生まれの方が味付けをして下さり、牛肉の出汁と醤油味に「美味しい、おかわり」の声がとまりませんでした。「山形風は牛肉の醤油、仙台は牛肉のみそ味？豚肉のみそ味？」と話していると「来週はみそ味作って食べてみればいいんだ」と、家庭の味を聞きながら食欲の秋を堪能しております。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・8日に少人数で利府方面へドライブへ出かけております。車内から見る景色に、ご利用者さん「懐かしい」「ずいぶん変わったね」など笑顔もみられ、ドライブを楽しまれておりました。今後、紅葉の時期でもありますので、ご利用者さんと一緒に楽しめればと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・7日に午後から少人数での定義山ドライブイベントを行いました。参加されたご利用者からは「楽しかった」「また、行きたいね」との声を頂いています。職員も久々のドライブをご利用者と一緒に楽しんでいました。コロナ対策をしっかりと行いながら、外出イベントや室内レクリエーションを職員と共に考えながら行っていきたいと思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・「はたらく」を一緒に勉強会したSEさん、SUさんですが7日ご利用時に早速ゆづるにお見えになると「婦人部（名称は今後考えていきます）は何すればいいっしゃ」と話され、半澤より「できることを考えてみましょう」とのことで、お二人より「スタッフさん、いつも忙しそうにしているから、家でも台所の事は自分でやっているから、台所をお手伝いする」と話され、二人で役割を調整して昼食作り・配膳をお手伝いして頂きました。午後のミーティングでは、当事者より「お手伝いしたくてもスタッフに申し訳ない」「切り方や味付は人それぞれだから、味付はスタッフさんにお願いして食材切りや煮たり焼いたりは手伝える」「人の役に立てるのなら喜んでやりたい」と話されています。まずはやってTRYだっちゃ！の合言葉で継続・展開できるよう歩んでいきたいと思います。



■杜の家いちい：本木伸吾さん

・10月に入り対策レベル引き下げ翌日より、地域町カフェに地元の利用者さん3名と久し振りに参加「元気だった」「どうしていたか心配していた」等々住民からの拍手と握手で出迎えられる。参加された方々も同様な面持ちで感激の様子が見られた。今回参加の3人は普段より携帯などで連絡を取り合うなど、友人関係であり互いに知り合ったのもこの町カフェであった。思い思いに地域参加のなかで近況を語り、笑顔と活気あふれる時間が過ごせました。今月から事業所新聞配布など配布再開を予定しており、地域とのつながりを状況に合わせた形で保っていきたい。

**【10月12日～10月18日】**

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・14日に芋煮会イベントを行いました。しっかりと消毒や対策を行いテーブルごと野菜を切ってもらい大きな鍋で仙台芋煮をみんなで作りました。いなり寿司も作りましたが、作っている最中に食べてしまうご愛嬌のハプニングはありましたがなんとか「いただきます」を迎えられました。ノンアルコールビールを片手に「とっても美味しい！！」「自分たちで作った芋煮は格別ですねー」「今度は山形風も食べてみたいな」とたくさんのお声を聞くことができました。わかなの杜の辛口コメンテーターからも「少し薄かったけど良かったよー」と上機嫌にお話して頂けました。たくさんの方におかわりをして頂け笑顔とお腹がいっぱいの1日となりました。今後も季節を感じられるようにイベント立案の対話を続けていきたいと思います。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・14日に芋煮会をケアホームにて行いました。季節の野菜やキノコ類を入れた芋煮汁を作りました。ウッドデッキでは、炭火で旬のさんまを焼いたり、焼き芋を作ったり、おにぎりを焼いて味噌おにぎりを作りました。自ら進んで炭おこしを手伝う方、おにぎりを握ったり、食材を切ってくださる方と、食べるまでの過程を一緒にしてくださいました。季節の物に「おいしい！！」との声が聞かれ、晴れた秋空の下、季節を感じれる良い一日でした。

■グループホームはごうの杜：小山匡信さん

・16日に芋煮会を行いました。両ユニットで宮城風・山形風の2種類を皆さんと一緒に作り山形出身の方は「芋煮はやっぱり牛肉だね。宮城に来てから違和感があったのよ。けど両方美味しいけどね。」とどんぶりに2種類の芋煮を召し上がりながら職員に話してくださいました。天気も良く暖かったのでテラスで召し上がる方もおり「芋煮を外で食べれていいね。こうゆうのもっとしたいね」と話してくださいました。買い物も少しずつ入居者さんと行けるようになり外出の機会が増えており皆さん活き活きとされておりました。買い物の帰りに色づき始めた街路樹を見て「これからは紅葉が始まるね。どこに見に行こう？」と話されている方もいたので、今まであまりできなかった外出を楽しんでいきたいと思います。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・13日に利用者さん数名とスタッフ２名でドライブに行きました。「紅葉フォトコンもあるし、下見に行こう！」とのことで定義山に向かいました。少し色づく程度で紅葉までとはいきませんでしたが、山のキレイな空気をたくさん吸うことが出来、気分転換になりました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・職員の小林さんがケーキ教室で作ったケーキを１階、２階に差し入れてくださいました。おやつの時間にホールケーキを切り分け皆さんと一緒に食べました。皆さんきらきらした表情でいつもより会話も弾み一気に召し上がられています。職員が傍を通ると「ほら」とご自身のケーキを「お食べなさい」とコーヒーと一緒に微笑みながらわけてくださいました。ご家族にその時の話をすると「前はよく皆さんに振舞うのが好きだったんです」と大変喜ばれていました。小さな物語が日々生まれています。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・芋煮会（山形風）を行いました。いつもは仙台風の味噌味ですが、ご利用者の希望で久しぶりに醤油味にしました。皆さん仙台の方ですが「醤油味も美味しい」と絶賛でした、今週は仙台風を作る予定です。また、昼食に出前を取ったり、紅葉も始まり室内の飾り作りやドライブへ出かけての写真撮影も行っております。今週も外出しいい写真が撮れればと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・15日に定義山イベントを行っています。皆さん久しぶりの遠出のイベントのため、お声掛けですぐに「行きます」とお返事いただいております。当日まで「晴れると良いね」など利用者さん同士で話をされており楽しみにされているようでした。当日、久しぶりのためか、参道を歩かれ疲労もみられましたがとても楽しんで頂きました。紅葉は少しずつ赤くなってきていました。写真は15日に定義山イベントの写真になります。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・秋空の心地よい日差しの中で、小規模とＧＨのご利用者のお友達同士が久しぶりにデッキでおしゃべりして過ごされました。お住まいもご近所だったので住んでいたころの当時の苦労話や、お互いに未亡人とのことで、「また恋でもしてみたいわ♥」と盛り上がっていました。

今月はハロウィンの設えを行いました。カボチャやオバケを作っていただきましたが、個性的なオバケが多すぎて夜勤者が怯えています。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・先週に引き続き「芋煮会」を開催しております。今週は「仙台と言えば、やっぱりみそ味でしょ」「そうだよな。みそ味はね、風味もうま味も出るから美味しいんだよ」と作る前から盛り上がっておりました。包丁を使わない作業は男性の皆さんが担当、ベテラン主婦の女性の皆さんは手際よく牛蒡に人参、ネギ、肉を切ってくださいます。味付けは三人がかりで行われていました。「これこれ！（この味）」お鍋一つ作った芋煮があっという間になくなりました。帰りの送迎時に「皆で作って、皆で食べるっていいもんなんだね。料理したときなかったから、今日は楽しかった。僕で出来ることことなら手伝うから、またやろう」と声を掛けてくださった方がいらっしゃいました。次のイベント企画も皆さんと相談しながら開催していきたいと思います。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・新米が取れたら塩結びにして食べたかったSさん。ついに！！職員が新米を持ってきてくれ、おにぎりの中に入れて食べたい具材をヨークベニマルから買ってきて15日の昼食に、皆さん自分でおにぎりを握り、中身は自由に食べたい具材をいれ（すじこ・たらこ・しそ昆布・うめぼし・さけ）にぎりました。「ちょっと形おかしいけど味は抜群」「まだまだにぎれるな！！」おにぎりと豚汁でゆめみの杜収穫祭を開催しました。Sさんは、、ちょうどいびきをかき熟睡モード。Sさんは夕食に新米を食べていました。ごちそうさまでした。

■特別養護老人ホームふたばの杜：岩淵真一さん

・13日に芋煮会を開催しました。当日はご利用者の皆さんとおにぎり作りや芋煮作り、火おこしなどを行いましたが「こうやってみんなと一緒に作るの楽しいね」「他にも何かすることない？」と皆さん楽しまれながらもテキパキと働く様子がとても印象的でした。天候にも恵まれ、外でのお食事に「こうやってお外で食べるの久しぶり！」と秋の季節を肌で感じた大好評のイベントとなりました。また小規模で収穫したサツマイモ、かぼちゃを天ぷらにしましたが「とてもおいしい」とご利用者と職員のお箸が止まらない食欲の秋となりました。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・14日昼食時、いも煮を作り、ご利用者さん全員で外にでて芋煮会を行っています。天気も良く、参加された皆さんからは「外で食べるのは格別だね」「みんなで食べるからおいしいね」など笑顔の絶えない楽しい時間を過ごすことができました。感染症対策を行いながら、ご利用者の声を聞きその時期にしかできない行事を今後も行っていきたいと思います。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・14日に2階フロアで栗きんとん作りを行いました。ご家族より大量の栗をいただき、それをご利用者と一緒に調理。蒸し方から皮むき、型取りに至るまで段取り良く行っていただきました。普段ご飯がなかなか進まない方も嬉しそうに召し上がっておりました。

コロナ禍において非日常的な日々が続く中、あたりまえの生活、当たり前の時間がこんなに尊いものなのだと、ご本人やご家族に気付かせていただいた一日でした。